

ネパール連邦民主共和国研修生が防災システムの視察に来ます。

- 研修名：JICA研修「シンズリ道路維持管理強化プロジェクト 本邦研修」
 - 日時：平成25年8月7日（水）11：00～12：00
※研修期間：7月29日～8月9日、国土交通省関係機関等を視察する中で8月7日に当事務所を視察
 - 訪問先：国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所（災害対策室）
 - 研修生：ネパール連邦民主共和国
道路局関係者より7名、治水砂防局より2名 総勢9名
- ※取材を希望される場合は、事前に問い合わせ先までご連絡下さい。

●研修の背景と目的

ネパール連邦民主共和国では、開発途上国でありかつ山岳国という事情もあり、道路網は不十分な状況にあります。こうした中で、各国の支援を受け道路網が整備されつつある状況に置かれています。

シンズリ道路は日本の支援を受けて建設されている道路で、首都カトマンズと南部テライ平原を結ぶ山岳道路です。総延長は約160km、平成26年度に全線が開通予定です。

しかし、雨期になると豪雨に起因する斜面崩壊や土石流などにより道路災害が多発し、災害対策に関わる能力の強化が不可欠です。

そのため道路管理は、道路行政単独で進められるものではなく、河川災害・土石流災害あるいは大規模地すべり災害に見られるように、治水・砂防との関わりは大きく、それぞれの連携によって安全な道路管理が可能になると考えられます。

今回の研修では、道路・治水・砂防の行政管理、維持管理、災害対策などについて、日本の持つ先進技術を学び、シンズリ道路や他の道路への適用について考察することを目的としています。

研修内容：今回の千曲川河川事務所での研修は、河川管理システム、災害時に対する予警報のシステム等の実例を学ぶことです。

【参考】災害対策室イメージ



【お問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局

千曲川河川事務所 026(227)7611

副所長（技術）大井孝輝

防災情報課長 鍛冶裕幸